

聖書箇所:イザヤ書9章1-5節
「私たちを照らすまことの光」

【1】 地を見ると…

- ・紀元前 722 年に北イスラエルはアッシリア帝国によって滅亡(II列王 17 章)。
- ・アッシリアに援軍を頼んだ南ユダもアッシリアの支配下へ(II列王 16 章)。
 - ▶ 「彼が地を見ると、見よ、苦難と暗闇、苦悩の闇、暗黒、追放され…」
(イザヤ 8:22)の実現へ

【2】 先取りした希望

- ・「…苦難と暗闇、苦悩の闇…」(イザヤ 8:22)の預言が刻一刻と実現のものへ
- ・その只中で語られた希望の預言—イザヤ書 9 章—
 - 「しかし、苦しみのあったところに闇がなくなる。」(9:1a)
 - アッシリアに滅ぼされた地、ゼブルン、ナフタリ、そして異邦の民のガリラヤ「先にはゼブルンの地とナフタリの地は辱めを受けたが、後には海沿いの道、ヨルダンの川向こう、異邦の民のガリラヤは榮譽を受ける。」
(9:1b)誰の目からも見放された暗黒の地が榮譽を受けると。
- ・「…榮譽を受ける…大きな光を見る…光が輝く」
 - すでに起こったことであるかのように書かれた(完了の時制)預言
 - 預言者は将来における神の救いの約束を先取りした形で伝えた

【3】 救いは神からの贈り物

- ・「榮譽を受ける…光を見る…光が輝く」の約束の実現
 - 収穫を意味する刈り入れの喜び
 - 戦いの勝利による分捕り物の喜び
 - ◀どちらも神によってもたらされる喜び
- ・神の救いを待ち望む者への約束
 - 「ミディアンの日」(9:4)：奴隷状態からの解放と戦いの勝利
- ・イザヤの預言から 700 年後、ゼブルンとナフタリの地方にあるガリラヤ湖のほとりで響いた声「悔い改めなさい。天の御国が近づいたから」(マタイ 4:17)
- ・「異邦人のガリラヤ」で開始されたイエスの宣教(マタイ 4:12-22)

▷アドベント、暗闇を照らすまことの光キリストを待ち望みましょう。

